



子ども歌舞伎公演

せきのみや

第十七回公演

日時 令和元年

12/8 (日)

全席自由

午後0時30分開場
午後1時30分開演

場所 兵庫県養父市関宮637
関宮公民館ノビアホール

出演団体 せきのみや子ども歌舞伎クラブ



【演目】
葛畑三番叟
口上
歌舞伎

せんば えごよみ うた
船場繪曆「歌しぐれ」
一幕三場

監修・振付・指導 / 水口 一夫
口上指導 / 西村 武
舞踊指導 / 嶋田 睦寿・嶋田 真寿

入場料 高校生以上 1,300円
〈前売り〉 中学生以下 500円
※当日券の販売はありません

- チケット販売 / [先行販売] 伝承友の会 9月24日(火)～(関宮公民館のみ)
[一般販売] 10月8日(火)～
- プレイガイド / 関宮公民館・八鹿公民館・養父公民館 大屋地域局
- 主催 / 葛畑農村歌舞伎伝承会
- 後援 / 養父市・養父市教育委員会
- 協力 / 松竹株式会社・たつた舞台株式会社
松竹衣裳株式会社・株式会社八木源かつら

お一人様
5枚まで

access map



令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)
(一財)地域創造 地域伝統芸能等保存事業
養父市伝統文化芸能振興補助金事業

問い合わせ先 / 養父市関宮地域局

〒667-1105 兵庫県養父市関宮637番地
TEL 079-667-2331 FAX 079-667-3213



せきのみや

子ども歌舞伎公演

◆葛畑三番叟

葛畑三番叟は、雪に埋もれながら春を待ち、田畑で種をまき、慈しみながら万物を育て収穫する喜びと、葛畑の自然の移ろいを表現しています。

葛畑は豪雪地帯に位置する地域で、周辺にはスキー場も有しているため、後半に雪が降り喜んで舞う場面があります。舞台では雪の降る様子を太鼓の音で表現しています。神事としての三番叟から、美しく華やかにと舞踊の流れを取り込み、子どもらしく振付されています。

〔配役〕安本 奈央(関宮小三年)

中村 奏太(関宮小四年)

田中 とあ(関宮小五年)

◆口上

尾崎 奏太(日高小六年)



県指定文化財「葛畑の農村歌舞伎衣装」

◆船場繪暦「歌しぐれ」一幕三場

歌舞伎

冬が訪れはじめたある日の大阪。

本町橋詰にある宿屋紀國屋。女主人のおれんは亡き夫の言いつけを頑なに守るも時世に合わず、夫の幼馴染である新宮屋治助にお金の工面を頼むほど商売は思わしくありません。

唯一の楽しみは養女お町の縁談ですが、実の母おぬいの悪い噂を聞いた仲人の甲州屋善兵衛に突然この話から手を引くと言われてしまいます。

生みの母が悪く言われる事を悲しむお町、実の親子の様に暮らすも血の繋がりを越えられぬ事に嘆くおれん。

二人の心を象徴するかのように時雨が降る中、雨宿りをしようと軒先に立つお高祖頭巾の女、それは十一年ぶりに大阪の地に帰って来たおぬいでした。おぬいは図らずも紀國屋に泊まる事となりますが、そこへ夫であった三河屋市郎右衛門が来合せ二人は再会します。

母と名乗りたいと願うおぬい、お町の幸せの為に止める市郎右衛門。しかし事情を知ったおれんの情けでおぬいはお町と二人きりで対面することに…。「安寿恋しやほうやれほ、厨子王恋しやほうやれほ、鳥も生あるものなれば」聞き覚えのある子守唄に驚くお町は…。

〔配役〕

おぬい(お高祖頭巾の女)

おれん(紀國屋の女主人)

三河屋市郎右衛門(三河屋主人)

お町(おれんの養女)

甲州屋善兵衛(葉問屋・仲人)

助七(紀國屋の番頭)

お仙(紀國屋の女中)

新宮屋治助(紀州からの客)

岡田 梨愛(村岡中二年)

中村 優月(関宮中二年)

森本 花羽(関宮中二年)

安本 実央(関宮小四年)

岡田 大輝(村岡小四年)

岡田 涉郁(村岡小六年)

尾崎 奏太(日高小六年)

中村 奏太(関宮小四年)

sekinomiya
kodomo
kabuki

郷田 恵作・水口一夫 補綴

令和元年度 葛畑農村歌舞伎伝承友の会 「入会のご案内」

〔会費〕 1口1,000円(年会費)〈口数1口〜〉

〔特典〕 会報誌・チケット先行販売・見学会
過去の上演映像販売 ほか

〔問合せ先〕 養父市関宮地域局(伝承友の会事務局)
〒667-1105 兵庫県養父市関宮637
TEL: 079-667-2331
FAX: 079-667-3213
HP: <http://www.kazurahataza.com/>

兵庫・但馬の屋根、氷ノ山の深い谷あい葛畑(かずらはた)の舞台、芝居堂があり、昭和43年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。

昭和の初めごろまで盛んだった葛畑の農村歌舞伎は一時衰退します。

しかし、地元住民の「もう一度歌舞伎を」という熱い思いが兵庫県、関宮町(現・養父市)や関係者を動かして、平成15年に37年ぶりの復活公演を果たしました。

また、次代を担う子どもたちへ農村歌舞伎を伝承するため、同年から子ども歌舞伎講座と子ども歌舞伎公演を毎年行っています。

このような活動を通して、伝統ある葛畑農村歌舞伎を伝承してまいります。

我々の活動にご賛同いただき、お力添えを賜いますよう、友の会へのご入会をご案内申し上げます。



国指定重要有形民俗文化財「葛畑の舞台(芝居堂)」